



税金の使い方、ここが問題

2017年度決算 厳しくチェックしました

逆立ち県政 開発型の公共事業の白押し

県財政をゆがめる 不要不急の大型事業費

不要不急の大型開発の温存・継続が、土木費と起債(借金)を膨らませ、県財政をゆがめる大きな要因となっています。

金沢港870億円 大浜大水深岸壁、無量寺岸壁の整備

産業競争力強化や、大型クルーズ船の受け入れ機能整備の名のもと、金沢港整備には870億円を超える莫大な公共投資を続けています。

総事業費不明 加賀海浜産業道路建設

金沢港と連結する加賀海浜産業道路、総事業費は不明。はっきりしているのは手取川架橋区間となる「川北町橋・能美市福島町間」だけです。



土木費	地方債残高	民生費
全国 12位	全国 3位	全国 35位

総務省「統計でみる都道府県のすがた 2018」より

石川県HPより

その一方で 子育て応援は 市町まかせに

違いが 子どもの 医療費助成

医療費の負担軽減は切実です。対象年齢は2002年改定以来、16年間据え置かれて全国ワーストクラスに後退しています。しかし、多くの市町では独自に努力し、18歳までの窓口無料化を実施しています。佐藤まさゆき県議は議会で改善を迫り、県民運動と連携して実現をめざしています。

対象年齢(3歳未満)の通院	
2006年2月	2016年度
石川県 3歳未満	→ 3歳未満
群馬県 2歳	→ 中学卒業まで
福井県 2歳	→ 小学3年生まで
長野県 3歳	→ 就学前まで



石川社保協2018年調べ

障がいのある人の切実な願い 心身障害者医療費助成制度

65歳以上の「窓口無料化」見送り

現行の「支給方法」償還払いを改め、「現物給付」方法を求める、障がい者医療費助成の改善署名に取り組み、2017年、6,308人分が県へ届けられています。県は「補助要綱」を改善するだけで「窓口無料化」を実施できません、是正していません。



討論もなく 自・公・他会派 決算認定に賛成!!

平成29年度 石川県会計歳入歳出決算

H30.12.4認定

決算認定の審議・討論は税金の使い方をチェックする議員の大事な仕事です。逆立ち県政のゆがみを正してこそ、県民のくらしも地域経済もよくなることができます。

原発推進政策の ゆきづまりあらわに

佐藤県議は、志賀原発の廃炉を求め、県の防災・安全対策が国まかせと批判。「再生可能エネルギーの普及目標と期日を明確にせよ」と、追及しています。

原発製造メーカーの日立製作所会長である経団連会長は国民の声におされ、年頭の記者会見で原発を造り続けるわけにはいかないと発言。今後、県議会は志賀原発再稼働に固執する県政への態度が問われることになるのではないのでしょうか。

